

青年海外協力隊

安芸高田市で、夢を抱いて様々な活動に取り組み挑戦者たち。彼ら突き動かす原動力とその熱い想いに迫ります。

子どもたちの笑顔に

たくさん出会ってきます

向原町出身

よしむらほのか
吉村 歩野花さん

諦めなければ
夢はきっと叶う！



好きな食べ物



地元・向原町にある「ひとは館」のアイスクリーム。キャラメル味がお気に入り

宝物



小学生の頃幼馴染の家で見たマザーテレサの伝記。新しく購入し大切にしています

表敬訪問



出発前の昨年12月、JICAスタッフとともに市長を表敬訪問しました

誰にでも平等に手を差し伸べる
「マザーテレサ」に憧れて

小学生の頃に読んだマザーテレサの伝記に感動し、「いつか人の役に立つことがしたい」と淡い夢を抱いた吉村さん。今年その夢を叶え、1月に青年海外協力隊のメンバーとして、スリランカ北部教育省へ配属されました。現地では94の小学校を巡回しながら英語・算数の授業や障害を持つ子どもへの特別支援などを行う予定です。吉村さんの淡い夢が具体的になったのは高校2年生の時のこと。授業の一環で青年海外協力隊OBの話聞いた時でした。「それまでぼんやりとしていた夢が一気に現実味を帯びました。私のやりたいことはこれだ！と思ったんです」。それからの吉村さんは、夢に向かって猛進。安田女子大学の教育学部に進み、語学力を磨くため英会話教室にも通いました。さらに、国際経験を積もうとボランティアでカンボジアにも渡航。青年海外協力隊OBとの繋がりを生かすため、JICA（国際協力機構）主催のイベントにも多数参加しました。

出発を前に心境を聞くと「子どもたちの笑顔に早く会いたい。ワクワク感しかありません」ととびきりの笑顔に。「私が派遣される場所は7年前に紛争が終わったばかりの地域。原爆から復興した広島を通して、希望を持って生活することの大切さも伝えていきたい」と目を輝かせました。帰国は2年後。一回りも二回りも成長した姿を私たちに見せてくれることでしょう。



第2特集



平成29年

安芸高田市

消防出初式



1. キビキビとした動きで観客を魅了した規律訓練展示
2. 消防音楽隊による迫力満点の演奏も楽しめました
3. 今年、初参加となった女性分団のみなさん

消防団員が集結する 新春の恒例行事

1月8日（日）、新春の恒例行事「安芸高田市消防出初式」が開催されました。毎年、安芸高田ヘリポートにて行われていたが、今年はいにくの雨。会場となった吉田運動公園体育館に、約600名の消防団員が集結しました。式典では、高宮方面隊が「糸乱れぬ動きを披露した「規律訓練展示」や消防音楽隊による演奏、消防団員として顕著な功績を収めた団員への表彰・感謝状の贈呈などが行われました（表彰者は24・25ページに記載）。消防ヘリからカプセルに入った県知事のメッセージを投下するパフォーマンスも予定されていましたが、残念ながら中止となりました。

今年も、今年度初めて結成された安芸高田市消防団女性分団の団員11名も参加。司会や受付などを担当し、式典に華を添えました。通常の任務では、女性ならではの視点を活かした啓発活動や入団促進活動、自主防災活動との連携などに力を注いでいます。

あいにくの雨模様でしたが、式典は滞りなく終了。隊員たちは新しい年に向けて、気持ちを引き締めていました。